## 【どろんこきっず】☆5領域への支援プログラムのお知らせ、 2024年11月

※2024年4月の法改正により、5 領域とのつながりを明確化した事業所の支援内容を示すプログラムの策定・公表が必要になりました※				
健康•生活	運動·感覚	認知・行動	言語 コミュニケーション	人間関係 社会性
・健康状態の維持・改善 ・生活のリズムや生活習慣の形成 ・基本的生活スキルの獲得	・姿勢と運動・動作における機能高上、補助的手段の活用 ・保有する感覚の活用 ・感覚の特性への対応	・感覚や認知の活用 ・知覚から行動への認知過程の発達 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ・数量、大小、色等の習得 ・行動障害への予防及び対応	・言語の形成と活用 ・言語の受容及び表出 ・コミュニケーションの基礎的能力 の向上、習得 ・コミュニケーション手段の選択と活用空間	・愛着の形成と安定 ・遊びを通じた社会性の発達 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加
<内容> ・食事、排せつ、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等、基本的生活スキル獲得 ・生活の中での関連動作、生活動作を促す ・時間に応じた行動の切り替え・体温調整、水分補給の促し・避難訓練	<内容> ・揺れる、回るなど重力が感じる遊び ・身体を動かすことで、身体の使い方を 知る遊び ・視覚や聴覚、触覚を刺激する遊び ・指先を動かす遊び ・感覚統合プログラム ・個々に適した環境設定	<内容> ・視覚、聴覚、触覚の感覚を活用しながら制作活動、身体遊び ・経験に基づいて行う活動 ・音楽やリズムを使って五感を 刺激する活動 ・数量、大小、形の大きさ、重さ、色の違いなどの習得 ・季節に合わせた活動、制作 ・因果関係 起承転結 ・特性に合わせた対応方法	<内容> ・内的欲求から、自分の気持ちを簡単な言葉とジェスチャーで伝える、伝わる環境設定・「おのまとペ」から言葉で表現すると楽しいと感じる活動・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促し、言語が身についていけるよう促す・ごっこ遊びや簡単なやりとりから、場面に合う言葉の形成	・感覚、運動遊びから見立て遊びごっこ
<活動の目的 一例> ・家庭、通園等関係機関との連携 体調や基本的生活スキルの状況を ご家庭や通う園と情報共有し自立 に向けて取り組む。 ・食事 お弁当、おやつ、調理体験から 食具の使い方や口腔内機能・感 覚等に配慮しながら、偏食への改善を行う ・スライム等、触感あそび 触感から感じる感覚調整 指先の動き、つまむなどの動作から 着替え等の生活動作の自立につな げる ・おにごつこ、サーキット、登山等 日常生活に必要な移動能力の向 上。睡眠等、生活リズムを整える ・畑での作物育成や収穫 ・健康観察 適宜体温測定 応急処置 など	<活動の目的 一例> ・ブランコ等のスイング遊具。揺れや回転を感じる遊具(姿勢保持、感覚入力) バランス保持、揺れや傾き、スピードを感じる事による前庭感覚の入力、方の力、握る力の向上、身体の使い方の力を感覚入力) 走る、跳ぶ、着地、止まる、切り替え、がり替え、がりから、かりから、かりが向く方がのとかが、着地、がありがのとかが、地で、が、地で、が、地で、が、地で、が、地で、が、地で、が、地で、が、地で	<活動の目的 一例> ・折り紙、工作 物体の構造化、道具の使い方、完成まで順序立て、企画 ・お当番活動での日付確認ボード作成日付、曜日、天気等、時間、空間などの形成 ・全身画自分の体の部位や位置関係を知る形の把握 ・色塗り色の違い、色の変化の認識 ・ブランコ等のスイング遊具空間の中での自分の位置の変化、見える景色の変化を感じる・絵本読み聞かせ絵と言葉の一致、言葉を聞いてイメージカを養う・ラジオ体操、リズム体操空間の中での自分の身体位置の把握、リズム、曲に合わせた動作	<活動の目的 一例> ·ごっこ遊び、物の貸し借り 「貸して」「ありがとう」など場面に合う言葉を遊びの中でやりとりの言動に繋げる ・感覚遊び 「ぬるぬる」「べたべた」「ピョンピョン」など物事の状態や様子を言語化する ・気持ちを言語化表情に合わせた言葉、その表情にある気持ちを言葉・大根抜きおに・仲間同士での相談、協力・制作活動自分の作品を紹介、質問に答える等、言葉のやりとり・昔遊び伝承遊びの中での動作と言葉の使い方・忍者ごっこ、だるまさんがころんだ等忍者ごっこでは敵にばれないように山みんなに声が届くように大きな声で話す等、声量の調整	地域活動への参加 ・誕生日会 お友達のお誕生日を祝う お友達の好きなことを知る ・お当番活動